



分子イメージング特別セミナー



「睡眠障害の動物モデル」

演者：本多和樹 特任教授
東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

日時：4月4日(金) 17:30－18:30

場所： 艮陵会館・大会議室

主催：睡眠学仙台研究会(学生は無料。スタッフは1000円)

共催：医学系研究科機能薬理学分野

谷内一彦(022-717-8055)

(東北大学分子イメージング研究推進室)

東北大学グローバルCOE

「新世紀世界の成長焦点に築くナノ医工学拠点」

本多和樹(ほんだかずき)氏の紹介

本多和樹博士は、学生時代から睡眠研究に興味を持ち、一貫して東京医科歯科大学において睡眠物質の研究を続けてきた。途中1995年から3年間米国スタンフォード大学医学部精神科、睡眠センターにおいて睡眠障害ナルコレプシーの病態生理解明の研究を行った。日本に帰国後は睡眠のみならず覚醒を制御する物質も含め、睡眠覚醒の液性制御機構解明の研究に取り組んでいる。さらに、近年社会問題となっている睡眠障害の病態生理解明に向けて動物モデルを用いた研究を推進している。現在は日本睡眠学会理事を務め、日本の睡眠科学の育成にも努力を注いでいる。

学会活動：日本睡眠学会理事，日本睡眠学会機関誌委員会委員，睡眠学ハンドブック編集委員長，日本時間生物学会評議委員

賞：全米睡眠障害連合よりAmerican Sleep Disorder Association, 1997 Young Investigator's Award受賞 (San Francisco, June 1997)